

山梨県 桃の会

会報第 83 号

育ちの核心は内面にある

何によって気持ちが動くようになるのか、何をどのように感じるようになるのか、
何をどのように判断するのか、どのような内的促しに導かれて生きていくようになるのか
損をしても、危ない目にあってもこの事は必ずやらなければならないといった

自分なりの覚悟がどう育っていくのか

(梶田叡一)



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

ピア Voice



♥ 『子供たちにありがとう!!』

長男の嫁として結婚して40年3人の子供たちを授かり自分の子育ての時を振り返ってみると、よくぞ子供たちよ育てくれたと言う思いばかりである。自営業を営む小姑が2人仕事で忙しくサンドの食事の支度、掃除、洗濯、仕事の納品と必死であった。長男が生まれた時は「抱き癖がつくから抱いてはいけない」と言われ毎日泣いていた。義理の父の病気、介護、親戚が泊まる、負債をして家を広げる、私の物やお金がなくなっても「お前がだらしがないからだ」長男、次男が学校に行けなくなると「お前の育て方が悪い」義理の母も「世間体が悪い」と「世間の人が何をしてくれるの」と喧嘩になった。

今思えば夫も義理の母もどうしたら良いのかわからなかったのだと思う。互いの価値観の違いに翻弄され苦しんだ日々であった・・・その中で本当に困った時助けてくれる人がたくさんいた。多くの学校の先生方、不登校の親の会の方、教育センターの先生方、作業所の優しい方々、多くの方々にお世話になり今があります。「何とかかなる」「早く大人になってほしい」そう思った。

こんな母親だけれど長男も自立し一人暮らしをしている。次男は結婚して子供を授かり、長女は兄達のことを勉強になったと家を出て結婚した。「俺が1番おかんに苦勞をかけた」と長男が行った時、私は驚き涙が出そうでも何とも言えなかった。肝心な時に私はいつも言葉にできない。今はそんなことなかったよ赤ちゃんの時抱きしめてあげられなくてごめん母の若さ故に至らないところばかりだったと謝りたい。

長男は責めてしまい夜昼逆転、過食症、家庭内暴力とあなたが1番苦しんだのだから・・・ 野武

♥ 家族と向き合う・・・兄として

～ ミニグループトークから ～

今回講演頂いた大林裕氏は、桃の会へは東京から何度も足を運んで頂く中で今回お話しをお願いすることになりました。お話の中でとても印象に残る内容が二つありました。

ひきこもる弟さんのことを「かけがいのない弟」だからと表現されたこと、そして「癒されている」と感じられていることです。

それはひきこもる弟を何とかしたいという気持ちの奥底に弟の気持ちを理解しよう、理解したいという強い思いが弟さんに伝わり弟さんとのコミュニケーションをスムーズにしているのではないかと思います。家族の中での人間的繋がり、信頼関係がなければひきこもる弟に対して「かけがいのない弟だから」という思いにはなりにくいでしょう。

どのような人間関係の中でも「自分を理解して欲しい」よりもまず「相手を理解しようとする」ことがお互いの理解を深めていくカギになるのだと思います。ひきこもる弟から「癒されている」と感じることは弟さんに対して一方的に何かをしてあげるという存在ではなく相手も沢山のメッセージを投げ掛けている存在であることに気付かされているということではないでしょうか。家族の誰かが不登校になったりひきこもったりするままならない状態を自分の苦しみよりも相手の苦しみを本当に知ろうとすることが信頼回復の一大歩であることを今回のお話の中で再認識したように思います。

人間関係の一番身近な家族が「かけがいのない家族」になれば何と力強いでしょう・・・



連日の猛暑の中、定員以上の方々の参加と共に臼井県会議員ご夫妻にも参加頂き心より感謝申し上げます。

・・・小林さんの報告から

当事者 Voice



▶ 当事者スペース報告 7月18日(日) 参加者2名 ぴゅあ総合会議室にて



いつもお世話になっております。当事者スペースの滝沢です

・・・今回の当事者スペースでは、普段の私生活、健康不安、仕事の経験談や悩みなど色々な話し合いができました。参加者2名は男性と女性それぞれ一人ずつでしたので普段はなかなか聞けない互いの男女観に関する貴重な意見が聞けてとても勉強になりました。今後の活動に活かしていきたいですね！

これからも桃の会をよろしくお願い致します。・・・

■ 桃の会・都留 ■ 7月12日(月) 参加者6名 いきいきプラザ都留にて

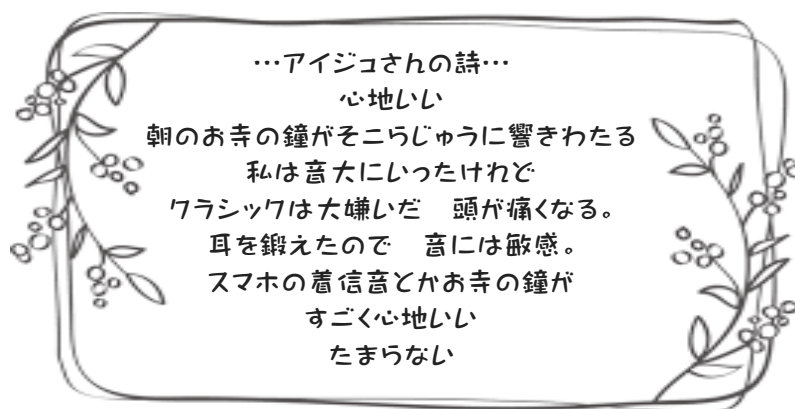
一般の方4名の内新しい方女性が3名参加してくださり6名での開催でした。

塾を50年している方は、学校に行けないけれど塾に来ていたり、自分の好きな資格を取ったり、英語の勉強をして海外へ行ったり学校以外にも色々な方向があることを知って欲しい。

また学童保育を15年ほどしている方も自分の勉強のためにと参加してくださいました。

皆さん自分が悩み苦しんだので今度は人のために何かできないかと集まってくださり頭が下がりました

野武 弘子



お知らせ

心音・kokone たき火をしながらの野外での個人的相談ができます。

芦沢茂喜さんが一人一人に寄り添ってお話を聴いて下さいますので今やるべきことが明確になります。その後も芦沢さんとの繋がりは続きます。

・・・予約が必要ですので下記にご連絡をお願い致します。

相談料は無料 但し場所代として500円必要です。



問い合わせ NPO 法人永弘会 055-233-8332 藤原 e-mail/yorisoi@eikokai.org

◆ 8月はミニグループトーク 当事者スペースを行います



山梨県は連日の猛暑で厳しい夏となっております。コロナ禍も5期の大きな波が押し寄せております。皆さま、如何お過ごしでしょうか。

今月も密を避け感染対策をしながら、ミニグループトーク、当事者スペースを行いたいと思います。今回は桃の会の当事者スペース、テーマトークの世話人の滝沢さんに、母親との共依存関係から抜け出す葛藤と苦しみを経緯をお話し願います。母親と二人暮らしであった滝沢さんは今まで病弱であった母親の面倒を見続けてきたヤングケアラーであり、母親からの心の拘束を受け続け自由に生きることを阻害されてきました。その生活から抜け出す覚悟を決め想像以上のエネルギーを要し家を出ました。様々な方々のお力を頂きながら現在アパートで一人暮らしを始めて2か月余り、これまでに至る様々な葛藤や不安、そして現在も彼を苦しめ続けるものがあります。彼の素直な心の叫びが皆さんの心にも届いて欲しいと思います。「ひきこもる」という現象の中味は多種多様です。特に「人間が人間として育つ」ということを阻止してしまう虐待は子供からいきる力を奪ってしまっており親子共々の未来を閉ざしてしてしまいます。

今回の会報の冒頭の言葉でもお伝えしましたが、「育ちの核心は内面にあり」知識や能力があることとは別の問題であることを深く心で感じられる機会となることを願っております。

★ ミニグループトーク 8月29日(日) 10時～ ぴゅあ総合 小研修室1 当事者無料
「母親との共依存関係から抜け出す葛藤と苦しみ」 滝沢悠哉(桃の会・当事者スペース世話人)

★ 当事者スペース 8月29日(日) 13時～ ぴゅあ総合 小研修室1 参加者無料

* * テーマトーク 今月はお休みします。9月は「家族とは何か」というテーマで行います

★ 桃の会・都留 8月23日(月) 13時30分～ いきいきプラザ都留 3F 研修室

コロナ感染防止のためマスクの着用のご協力をお願い致します。



農園でギャザリングしよう！

画 55㎡ (約 17 坪) 1 年間 市民農園：1 区 6.000 円

場所：甲府市七沢町 友達家族などで一緒に畑で過ごしませんか

お問い合わせ：055-243-0261 (相良農園)

すみれ会

8月の集まりはお休みさせていただきます

お問い合わせ：090-5416-8748 (清水)

* すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です

◆ 9月の予定 ミニグループトーク 9月18日(土) 10時～ ぴゅあ総合 小研修室1

当事者スペース 9月18日(土) 13時～ ぴゅあ総合 小研修室1

テーマトーク 9月26日(日) 10時～13時 プラザ1F ロビー

桃の会・都留 9月第2か第3の月曜日、いずれかです。



お問い合わせ TEL&FAX 0266-78-3742 090-6190-8677 桃の会事務局 篠原

